

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		畜犬登録事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	050803000240
				単独/補助	単独	所属課	030301
				主要事業			生活環境課
政策体系	総合計画の施策名	0508	生活環境の保全		市長マニフェスト		グループ
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり		未来PJ事業		
	施策名	08	生活環境の保全		合併建設計画事業		
	手段名	03	③公害防止活動の推進				
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業
法令根拠	狂犬病予防法						

事務事業名	畜犬登録事業	事務事業No.	50803000240	所属課	生活環境課
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

昭和25年の狂犬病予防法の制定に基づき予防注射が義務付けられ予防注射の接種率向上のため登録管理により飼主への啓発を行っている。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

主に犬を飼っていない家庭から、飼主のマナーの向上（放し飼い、糞害、しつけ、吠える等）について啓発を強化してほしい等の要望がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

飼養マナーの向上や登録の義務などについての啓発が必要。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	結びついている	適正な飼育について継続したPRをすることは接種率の増加、飼育モラルの工場が図られ、苦情が減少しよい環境に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
有効性	妥当である	狂犬病予防法の規定により実施するもので、登録・予防注射・適正な飼育管理を行う。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	向上余地がある	未登録・予防注射の未接種を減らすために継続的な啓発の実施。
効率性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	影響有	法律の規定によるものであり、人間にも重大な危機をもたらす狂犬病の発生を抑制するためには廃止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	具体的な手段、事務事業名 狂犬病予防事業第9支部狂犬病予防対策協議会参画事業
公平性	連携ができる	狂犬病予防事業の集合注射実施時に畜犬登録事業の新規登録事務もやっている。
	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	削減余地がない	登録の鑑札の費用であり削減はできない。 必要最小限度の経費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	公正・公平である	登録手数料の個人負担がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性	■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	飼い主のマナーの低下が、野犬の増加などにつながると考えられる。 今後は広報紙や行政区長などを通じて啓発活動が必要となる。																							
②有効性	□ 適切 ■ 見直し余地あり																									
③効率性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
④公平性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
☐ 終了 ☐ 廃止 ☒ 継続 ☐ 休止 → ☒ 改革改善を行う ☐ 現状維持 (複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☒ 有効性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 効率性の改善 ☐ 公平性の改善 ☒ 連携ができる		<table><tr><td colspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td colspan="2"></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☐ A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐